

科目名	仏教文化講読演習 I 1 - 2					単位	2.0
担当教員	伊東 恵深						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	2	授業番号	1414

●授業のテーマ

『教行信証』引用文を読む(1)

●到達目標

親鸞が主著『顕浄土真実教行証文類』(『教行信証』)に引用した経論釈の意味内容を解読する。そのことを通して、親鸞がいかなる思想を有し、どのような課題を引用文に託していたのかを了解する。

●学習内容(授業概要)

『教行信証』(全六巻)に引用される経論釈の文の意味内容を検討し、どのような意図があって引用されているのか(配置されているのか)、各巻の課題との関わりも含めて考察していく。  
本講は、受講生の発表と質疑応答を主軸とした「演習」形式で進めていく。毎回担当を決めてテキストを読んでいくので、相当の予習・復習が求められる。  
後期開講科目「仏教文化講読演習Ⅱ 1 - 2」とセットで受講することが望ましい。

●学習内容(授業計画)

≪前期≫

1. 演習のガイダンス
2. 発表者(発表箇所)の決定と導入講義
3. 受講生の発表①『教行信証』「行巻」1 (昨年度の続きから)
4. 受講生の発表②『教行信証』「行巻」2
5. 受講生の発表③『教行信証』「行巻」3
6. 受講生の発表④『教行信証』「行巻」4
7. 受講生の発表⑤『教行信証』「行巻」5
8. 受講生の発表⑥『教行信証』「行巻」6
9. 受講生の発表⑦『教行信証』「行巻」7
10. 受講生の発表⑧『教行信証』「行巻」8
11. 受講生の発表⑨『教行信証』「行巻」9
12. 受講生の発表⑩『教行信証』「行巻」10
13. 受講生の発表⑪『教行信証』「行巻」11
14. 受講生の発表⑫『教行信証』「行巻」12
15. 総括(まとめ・小レポート)

●準備学習・事後学習の内容

「準備学習」…次回の演習箇所を講読して、不明な点があれば事前に調べてくること。特に発表者は、担当箇所を精読してレジュメ(資料)を作成してくること。

「事後学習」…授業で学んだ内容を復習して、そこから自分なりの課題や問題を見出すこと。

●成績評価方法・基準

平常点(出席・発表・受講態度など)80%、期末試験(小レポート)20%

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：『真宗聖典』、著者名：真宗聖典編纂委員会、出版社：東本願寺出版部

●参考文献／その他

参考テキスト：『定本 教行信証』（親鸞聖人全集刊行会、法蔵館）

その他は授業中に随時紹介する。また必要に応じて、プリントなどを配布する。

●履修上の注意

テキストは必ず持参すること。持っていない場合は欠席扱いとする。

担当箇所を決めて、受講生に毎回発表してもらうので、予習・復習、レジュメ（発表資料）作りが必須である。単位取得には相当の努力が必要である。